



》》》》》》新刊のご案内《《《《《《《《

「国民皆保険はまだ救える」

崩れ去る「公助」「共助」から「自衛」の時代へ

TPP解禁!?!の今、医療経済学の第一人者が満を持して執筆!

川渕 孝一著 東京医科歯科大学大学院教授

●四六判 280 ページ

●定価 / 1890 円(本体1800 円+税) ●送料 / サービス

ISBN 9874-901450-12-6 C3036

11月25日発売

■内容紹介

「国に期待せず、民(たみ)の知恵と努力で自衛する」。もはやこれしかない。

第1章では日本の医療の将来像と現実のギャップを俯瞰し、第2章では、旧自公政権時代の官僚主導の医療改革が、しがらみに縛られ肝心要の「患者の視点」がいかに欠如していたかを明らかにする。第3章では政権交代に期待した「政治主導」の新成長戦略もいかに危ういものだったかを看破し、第4章で、私の空しい訴えかもしれないが「国民皆保険はまだ守れる!」との希望を込め、東日本大震災の復興計画を織り込んだ医療・介護の将来像を描いた。「はじめに」より

■目次

- 第一章 日本の医療が危ない** —— 増幅する医療不信
- 第二章 どうして医療改革は進まないのか** —— 官僚は臨床現場がわからない
- 第三章 政権交代でわが国の医療はよくなったのか** —— 口先だけの政治主導
- 第四章 日本の医療はどうしたらよいのか** —— 抜本改革などありえない

【発行】自由工房 <http://www.jiyukobo.co.jp>

〒111-0053 東京都台東区浅草橋1-27-5 大興ビル203 TEL:03(3865)5851

国民皆保険はまだ救える 崩れ去る「公助」「共助」から「自衛」の時代へ		お申込書		ご購入 部数	冊
送付先	〒				
お名前					
お支払	銀行振込	郵便振込	e-mail		
TEL			FAX		

お申し込み送付先 **FAX 03(3818)0837**

「国民皆保険はまだ救える」崩れ去る「公助」「共助」から「自衛」の時代へ

目次詳細

はじめに

第一章 日本の医療が危ない

——増幅する医療不信

- 一、はたして医療はサービス業か
- 二、どうして「たらい回し」がなくなるのか
- 三、ピンボケの医療政策

第二章 どうして医療改革は進まないのか

——官僚は臨床現場がわからない

- 一、官僚への丸投げが続く医療改革
- 二、“肅清”ばかりでよいのか介護ビジネス
- 三、医師定員増で医療崩壊が救えるのか？
- 四、「メタボ対策」で医療費は浮くのか？
- 五、不況下の精神科医療——うつ病のコスト
- 六、あらためて問う！ 日本の医薬分業

第三章 政権交代でわが国の医療はよくなったのか

——口先だけの政治主導

- 一、マニフェスト選挙の虚と実
- 二、迷走する後期高齢者医療制度の現状と課題
- 三、北欧モデルは日本になじむのか？
- 四、タバコ税こそ公的医療保険の新たな財源に！
- 五、二〇一〇年度診療報酬改定で医療は救われたのか？

第四章 日本の医療はどうしたらよいのか

——抜本改革などありえない

- 一、医療は新成長産業となるか
- 二、本当に日本の医療は「世界一」なのか
- 三、臓器移植はどこまで保険でみるか
- 四、地域医療再生のヒント
- 五、総合的なワクチン政策
- 六、負担と給付をフェアにする共通番号制度
おわりに

●著者略歴

1959年富山県出身。一橋大学商学部卒業。シカゴ大学経営大学院修士課程修了(MBA取得)。民間病院・企業勤務後、旧厚生省国立医療・病院管理研究所、日本福祉大学経済学部教授、日本医師会総合政策研究機構主席研究員、経済産業研究所ファカルティフェローなどを経て現職。専門は医療経済学、医療政策、医業経営。「医療の見える化」を切り口に消費者の視点に立った医療制度改革を提言する。

著書に『医療改革——痛みを感じない制度設計を』(東洋経済新報社)、『進化する病院マネジメント』(医学書院)、『医療再生は可能か』(筑摩書房)ほか多数。

《国の委員》

経済産業省「医療産業研究会」医療ツーリズム促進に関する検討委員会(仮)座長

経済産業省「医療産業研究会」委員

内閣府・行政刷新会議「規制・制度改革に関する分科会ライフイノベーションWG」構成員

内閣府・総合科学技術会議「ライフ・イノベーションに係るサブワーキング・グループ」の構成員